



ブライダル都市（高砂）

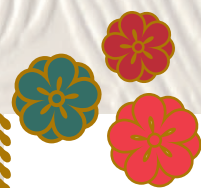
「たかさごやこの浦舟に帆を上げて…」とはじまる謡曲をご存知ですか？

結婚式やおめでたいときに謡われる「高砂」と、平和と長寿の象徴である「尉（じょう）・姥（うば）」の伝説が生まれたのが「高砂市」。

結婚式で新郎新婦が座る席を「高砂」と呼ぶ由来もここからきたものです。

いつの間にか「高砂」は幸せの象徴となり、「尉姥」のモチーフは高砂人形として現在に至るまで愛されています。

古くから人と人との縁を繋いできた町。素敵な縁を結べるように、ここでお待ちしています。



病院見学会随時実施中

説明会・病院見学・採用などお気軽にお問合せください。

TAKASAGO
HOSPITAL *Seibu*



高砂西部病院
看護師募集のご案内

医療法人 徳洲会

高砂西部病院

tel: 079-447-0100

mail: n-office@takasagoseibu.jp

〒676-0812 兵庫県高砂市中筋1丁目10番41号



<http://www.takasago-nurse.com/>

幅広い看護を学び、チームとして

成長 できる

高砂西部病院は、地域の皆さまのニーズに応えられる病院づくりを目指しています。

可能な限り救急に対応し、急性期・慢性期・回復期、そして在宅医療と幅広い医療サービスを提供する病院として地域貢献することに努力します。看護部が大切にしていることは「心に届く看護」を提供すること。すべてのスタッフが学ぶ姿勢を大切に、特に新人看護師には基礎看護力の習得に努力し対象のニーズに応えることができる人材育成に注力しています。個人の持つ能力を引き出し、臨床現場に活かすことが重要です。院内研修はもちろん、徳洲会グループのスケールメリットを活かしたキャリアアップが可能です。僻地離島での研修や救急・災害看護などの研修も豊富です。

あなたも、私たちと一緒に看護師としての成長をつかんでみませんか。

TAKASAGO
HOSPITAL *Seibu*

高砂西部病院の医療・看護

急性期



当院の外来は、24時間365日断らない病院として救急患者の受け入れを行っています。患者様の重症度に合わせてトリージングをとり安心な医療を提供しています。

慢性期



個別ケアの充実に取り組み、患者さま一人ひとりの状態や希望に寄り添った看護を実践しています。また、多職種が連携し、リハビリや終末期ケアにも力を入れることで、患者さまとご家族の心に寄り添う病棟を目指しています。

回復期



ご自宅での生活をイメージして、起床から就寝にいたる一日の生活の流れの動作全てをリハビリテーションの一環と考え、実践的な訓練を行います。

認知症



生活歴や趣味を活かした『パーソンセンタードケア』を実践しています。行動心理症状(BPSD)の原因を分析し、多職種で代替案を検討することで、患者さまが安心して療養生活を送れる環境づくりに努めています。

母性・小児



赤ちゃんの産声や子どもたちの声が聞こえてきます。緊張する中でもホッとするひとときを得られます。私たちは未来のために看護をしています。

訪問看護



近年、嬉しいことに在宅医療でのやりがいを見つけて、活きいきと活躍する看護師が増えてきました。きっと、病棟では得ることのできない経験と喜びがまっています。

Message

昨今、社会から求められる看護師のスキルは高くなってきました。看護師としての基礎をしっかりと創り上げ生涯学習や日々の研鑽が必要です。患者さんの一番近くで長く関わりを持つことができる看護師は時として代弁者として勤めることが大切。一人ひとりが専門職としての自律性を認識し、自らの目標に向かって完結する力が求められます。また、自分の持つ感性を大切にして人間性を育み、患者さんに接して頂きたいです。何気に咲いている草花や、窓の風景…自然の風景を見て、素直な心で「きれいだな」と感じ取れる人は素敵ですね。知識・技術は基より、人間性豊かな看護師になって頂きたいと思います。

看護部長 橋本 奈緒美



T) 看護師になって良かったなって、どんな時に思う？
 Y) 時間配分ができて、スケジュール通りに進めば嬉しくなります！
 S) 私は、患者さんの想いを聞いて、それに答えられた時にやりがいを感じます。「ありがとう」と言われた時は、自分が患者さんにきちんと向き合えたんだ、と嬉しかったです。
 T) 患者さんに感謝されたり、必要とされたりすることは嬉しいよね。2年目は1年目よりもできることが増えていく分、悩むことも出てくると思うけど、どうかな？
 S) 正直、悩むこともあります…。
 Y) うん。でも、今までできていなかったことができるようになってきて、楽しさもあるかも。
 S) そうだね！毎日の積み重ねって大切な、と実感できるようになってきました。自分で体験して、成長できることは嬉しいです。
 T) 身をもって経験するって大切だね。私の場合、認知症の患者さんや、意志表現が難しい患者さんの気持ちが理解できる場面があって。看護師だからこそ見つけられたこと、理解できることだと思うから、そういった

新人×新人×先輩 座談会

部分をこれからも大切にしていきたいと思っているよ。
 Y) 私は最近、人工呼吸器について勉強しようと思っていて！教材だけを見ても分からない部分があるので、実際に機材を扱って、体験しながら学びたいです。
 S) 高砂西部病院は教育制度がしっかりしていて、新人時代は毎月研修が組まれているから、まずは、教育カリキュラムの一つひとつを大切にしていきたいですね。きちんと学んで、関心のある分野を見つけていきたいです！
 一これからも見守られながら
 T) Sさんのマイペースさは良いよね。看護師としてどんな場面でも落ち着いて対応できるっていう点は強みになる。そのまま、育ってね。
 S) はい(照) 私は、どれだけ業務が忙しくても、患者さんにしっかり向き合っていきたいと思っています。

T) そうやって考えて、行動しているのが伝わっているよ！Yさんは…面白いところが魅力(笑)
 Y) 魅力じゃない!! (笑)
 T) いや(笑) そのポジティブさはとっても良いところだよ！人間関係を築くのに、明るさや人柄は大きなチャームポイントだから。
 Y) そうですかね…。私は、患者さんについても業務面についても、「そこ、おかしいな」と感じたことを、きちんと言葉に出せる人になりたいくて。そのために、自分だけじゃなくて、周りのことをしっかり見られる人になりたいと思っています。
 T) それは、とっても良いことだね。私は最近、二人には少し厳しいことも言っているけれど、それは期待しているからなんだよ。今は1年目の卵から、2年目のひよこになったばかり。病棟みんなで支えていくから、元気に育ってね。
 S) 期待に応えられるように、しっかり勉強してステップアップしていきたいと思います！
 Y) 3年目になる頃には、新人さんに「カッコいい人」って思われたいなあ！
 T) いいね！コソコソ頑張っていきましょう！

年間教育 スケジュール

4月／新人オリエンテーション・ 書写山円教寺での写経・新人集合研修

入職初日から一日中オリエンテーション、緊張と不安で疲労はマックスだけれど、しめは座禅と写経で心と体を浄化しリラックスします。入職2週目からは午前は所属部署でOJT、午後は集合研修でシュミレーターを使用した基礎看護技術研修を行います。新人看護師が集まる場となり所属部署での学びや悩みについての情報交換の場にもなります。



4月

5月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2月

3月

1月／多重課題

看護師の周りでは常に複数のイベントが発生します。安全な看護ケアを提供できるよう優先順位を考え行動するための実践的研修です。

9・10月／ ローテーション研修

所属部署では身につけにくい疾患看護や基礎看護技術を身につける機会となります。

12月／SBAR

緊急時、簡潔にもれなく報告するツールを身につけ報告上手になります。

■ コメディカル研修

他部門での研修を通して、業務内容を知ることで日々の看護業務が他職種と深く関係していることを改めて知ることができます。職種間での協力意識を育み他職種との連携や協働に向けて、チーム医療で求められる看護職の役割について考えることができる研修です。

8月／BLS・高齢者体験

BLSは年3回以上研修を行います。加齢による身体的な変化(筋力、視力、聴力の低下)を知り、高齢者の気持ちや介助方法、コミュニケーションのとり方について体験的に学びます。

7月／BLS(一次救命処置法)・ AED(自動体外式除細動器)の使い方

施設内で遭遇する心肺停止患者に対して速やかにかつ適切な方法でBLSが実施できるよう訓練します。



新人看護師教育は入職より看護技術習得を目指し集合研修を実施。新人同士のコミュニケーションを図る場ともなっています。またローテーション研修では配属部署では経験できない疾患の看護ケアや基礎看護技術が習得できる機会となります。看護部教育委員会では看護師が継続して段階的にレベルアップを図れるよう、クリニカルラダーを取り入れ研修計画を立案実施しています。Eラーニングの活用により各自が自律して学習出来る仕組みや院外研修にも積極的に参加できるよう働きかけを行っています。

病棟紹介

3F東病棟

地域包括ケア病棟です。若いスタッフが多く、明るく相談しやすい病棟です。患者さんや家族が安心して在宅等へ退院できるよう多職種と協働しながら、日々のケアに努めています。

3F西病棟

産婦人科、眼科、整形外科を含む混合病棟です。様々な年代の患者様がおられます。患者様だけでなく一緒に働く仲間も大切にしながら日々頑張っています。

4F東病棟

混合の一般急性期病棟です。感染症を含む内科・外科・小児科と多岐にわたります。高齢の患者さんが多いため退院後の生活を見据えたケアを心がけています。

4F西病棟

療養病棟は急性期治療を終えた患者さまが、長期的な療養や医療的ケアを必要とする際に利用する病棟です。医療と生活支援が一体となったケアを提供し、患者さまが安心して療養生活を送れる環境を大切にしています。

5F西病棟

回復期リハビリテーション病棟です。早期在宅復帰を目指し、患者様のご自宅での生活をイメージして365日途切れることなく実践的なリハビリができるようサポートしています。

とっても
心強かった
です！

頼もしく
なって
きたね！

4東病棟
S

4東病棟
Y

4東病棟
T

チーム医療



認知症ケアチーム

1
C
T

身体的拘束最小化チーム



院内感染対策において、具体的な感染対策活動を計画・立案・実施するチームです。院長直属のチームであり、医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師・事務員より構成されています。週に一回、院内環境ラウンドを行い各部所の感染管理状況の確認、指導、相談を行います。また院内の感染症の発生状況、抗菌薬使用状況、検出病原体の情報共有や協議を行います。院内感染発生時には迅速に状況調査を行い、対策計画を立案して対応にあたります。対外的にも、年4回地域の医師会、保健所、医療施設と感染に関する合同カンファレンスを実施しています。

当院の身体的拘束実施率は0～1%で推移しており、病棟スタッフやチームとの代替案検討、センサー類の充実や継続的な教育研修により、患者さまの尊厳を守る『身体拘束をしない文化』が根付いています。

倫理的配慮を重視し、安全で安心な療養環境が提供できるようチームでは心がけています。




福利厚生

◆寮完備

すべての寮がオートロックですので
プライベートも安心、快適に過ご
せます。

















































































































































































すべての寮がオートロックですので
プライベートも安心、快適に過ごせ
ます。

料理教室やフットサルなど、休日や勤務が終わってからなど部署の垣根を越え楽しく活動しています。また年間活動費として病院からの補助金も出ます。

徳洲会グループ共済や各種保険などグループ規模を活かした制度も充実しています。

神戸～姫路の間に位置する病院です。休日には大阪、神戸、姫路など気軽に遊びにいきます。仕事だけでなくプライベートも充実を。

職員だけでなく配偶者やお子様、ご両親等も含めた手厚い制度があります。



新入職員歓迎会、忘年会などをはじめ年間を通じ各種イベントも盛り沢山。ちょうど良い規模の病院だからこそできることです。



周辺マップ

